

新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム 開催結果

日時 令和5年11月14日（火）15時～17時

場所 ニューオーサカホテル 3階 淀の間（大阪市淀川区西中島5-14-10）

参加者 157名（地権者、コンサル、ゼネコン、協議会構成員 等）

内容

(1)基調講演

アーバンデザイン新大阪 ～“えきまえ”から“えきまち”へ～

講師：関西大学 木下教授

- 香港・西九龍文化地区、シンガポール・マリーナベイにおける開発の事例紹介
- 海外事例から新大阪が学ぶこと（連続する歩行者空間、場所の価値を位置づける目玉 等）

(2)パネルディスカッション

民間都市開発に期待する新大阪のまちづくり

パネリスト：関西大学 木下教授

日建設計 福田氏

スリーワイ・エム・ディ 松田社長

- 世界有数の広域交通ターミナルとして新大阪に必要な機能、重要な視点
- 渋谷における再開発の事例紹介（段階的に開発、街区間の歩行者動線を確保 等）
- 関係者間のパートナーシップによるまちづくりの推進
- 新大阪駅南口エリアでのまちづくりの取組紹介（「まちづくり研究会」発足の動き 等）

アンケート結果

■ **満足度**：基調講演、パネルディスカッションともに**90%以上**の参加者が「非常に良かった」、「良かった」と回答

■参加者の声

- 海外の成功事例を知ることができ良かった / 事例紹介等とても勉強になった
- 新大阪のこれからに興味が高まった / 新大阪開発の夢が膨らんだ

【シンポジウムの様子】



【基調講演の様子】



【パネルディスカッションの様子】

